

昔の遊び体験会

1. 目的

- ・様々な昔の遊びを体験することにより、子どもの運動機会の確保と基礎的な運動能力の獲得を目指すとともに、地域とのつながりづくりを目指す。

2. ヒアリング結果

○団体名

- (1) 松江市地域体育協会連合会
- (2) 松江市高齢者クラブ連合会
- (3) 健康まつえ 21 推進隊（健康推進課）
- (4) 松江ナザレン保育園／育英北幼稚園

○主な内容

- ・こどもは自分で考えて遊ぶことができるが、最近は自分で考えることができなくなってきている。昔の遊びは自分で考えて遊ぶための参考になるかもしれない、やったほうがいい。
- ・地域体協は働いている人も多いので、公民館や高齢者クラブなどと協力してやっていくといいのではないか。
- ・各地区の高齢者クラブでも昔の遊び体験など、こどもとかかわる活動をしているため、指導者としての参加は可能だろう。
- ・保育所等と地域とのかかわりは、地域差が大きく、交流がないところも多いため、地域との関わりという意味でも昔の遊び体験の提供はありがたい。
- ・子どもの成長は早いので、地域の方が年2回きててくれるだけでも、子どもの成長を感じることができると思う。

3. 事業概要

○対象：未就学児（保育園児、幼稚園児など）

○指導者：地域団体（地域体育協会、高齢者クラブなどを想定）

○会場：保育所・幼稚園・認定こども園など

○実施手順

- ①実施可能な各地域の団体と保育所等をマッチング
- ②地域団体の指導者が保育所等に出向き、事業を実施

「子どもへのスポーツ体験の提供」概要

○実施スケジュール（年度）

R7：計画策定、モデル地区の設定

R8：モデル地区での事業実施

R9：事業開始

○課題

- ・指導者の確保

- ・学びの質の確保

→日本スポーツ協会のACP 運動遊びや保育学科の教科書などを活用したメニューの作成